

# 令和3年度地震・津波防災訓練 (内閣府・千葉県・館山市)

## 実施報告書 (概要版)

### 千葉県館山市について

館山市は、房総半島の西南端に位置し、東京の中心部からは100km圏に位置する。西から南にかけては東京湾から太平洋に面している。

海岸線の北部は房総三浦丘陵地の陥没によりできた内湾砂丘海岸が続き、南部には沖合の伊豆七島を控えた外洋砂丘海岸が続いており、沿岸一帯には岩礁が多い。

平成26年3月に「南海トラフ地震防災対策推進地域」、及び「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」の指定を受け、大規模地震に伴う津波被害に対する防災対策を推進している。

市では、海岸保全施設等のハード整備に依存した防災対策では限界があり、今後想定すべき巨大災害に対しては、減災の視点に重点を置き、市民の避難行動を軸とした、人命の安全を守る対策を最優先に実施していかなくてはならないと認識している。



出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：「令和3年12月5日(日)午前9時、紀伊半島南東海域を震源地とする巨大地震が発生。震源地は、紀伊半島沖、深さ：30km、地震の規模（マグニチュード）は8.4。館山市震度：5強を観測。（紀伊半島市町村：震度7、愛知県市町：震度6強）  
午前9時2分、千葉県内房に大津波警報が発表。予想される津波最大高は10m。第1波の到達予定時刻は、5日9時30分」との想定のもと、館山市は市内沿岸部に対し、避難指示を呼び掛けた。
- 実施日時：【訓練実施前WS第1回】令和3年10月29日(金) 13:00～16:00  
【訓練実施前WS第2回】令和3年11月19日(金) 13:00～16:00  
【訓練】令和3年12月5日(日) 09:00～12:00  
【訓練実施後WS】令和4年1月28日(金) 13:00～16:00 ※中止
- 訓練対象地区：北条地区(令和3年12月1日現在：6,490世帯/12,772人)
- 主催：館山市、千葉県、内閣府
- 参加者数：訓練参加延べ人数 1,847名
- 参加機関：北条地区町内会及び自主防災会、館山市消防団、安房医師会、安房郡市消防本部(館山消防署)、館山警察署、千葉県防災危機管理部、千葉海上保安部館山分室、海上自衛隊第21航空群、陸上自衛隊高射学校 等

## 訓練の評価

訓練実施前ワークショップにおいては、跡見学園女子大学の鍵屋一教授の指導のもと、過去に起きた災害の振り返りや、町内会など近所で助け合う「近助」を強化するため、それぞれの地区での避難場所の選定や、安全な避難経路などを自ら考えて選定し、実際の避難訓練でその避難場所や避難経路の適否、課題の抽出を行うことができ、「地区防災計画」作成のきっかけとすることができた。

また、津波避難訓練の実施と並行して行なった災害対策本部運営訓練や海上保安庁巡視艇と海上自衛隊ヘリコプター救難機による津波に流された要救助者の捜索・救難訓練、陸上自衛隊が設営した屋外テントを使用した応急救護所での重傷者トリアージ訓練なども実施し、防災関係機関同士の顔の見える関係を構築することができた。

さらに、「災害時、一緒に助かる避難を考える」と題して、鍵屋教授による防災に関する講演会では、市内全域の町内会長、自主防災組織員等235名の参加を得て、防災意識の高揚を図った。

訓練実施後のWSは新型コロナウイルス拡大の影響により中止となったが、来年度、危機管理課主管による「防災講習」の位置づけで、北条地区町内会長等を対象とし、アドバイザーの鍵屋一教授作成の講義用資料を使用した講習を行なうこととし、継続的に防災訓練が実施できるよう計画した。

10月29日（金）、11月19日（金）13:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

訓練実施前ワークショップでは自助・近助の重要性を理解し、津波避難の際の避難場所や避難経路を自ら選定し、避難訓練で確認して、地区防災計画等の必要性を検討した。

▼主催者挨拶



▼アドバイザー講演  
（跡見学園女子大学  
鍵屋一教授）



▼グループ討論の様子



12月5日（日）09:00～09:35 シェイクアウト訓練・津波避難訓練

防災行政無線の放送により、一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を行い、その後、各町内会ごとに選定した避難経路で避難場所へ徒歩による避難訓練を行った。また津波避難ビル屋上への避難訓練も実施された。

▼津波避難場所  
への避難訓練



▼津波避難ビル  
への避難訓練



▼津波避難ビル  
屋上への避難



12月5日（日）09:00～12:00 防災関係機関連携訓練・防災に関する講演会

災害対策本部訓練と並行して、海上における要救助者の搜索救難等、防災関係機関の連携訓練を行った。

訓練後には、千葉県立館山総合高等学校で鍵屋教授による防災に関する講演会『災害時、一緒に助かる避難を考える』を実施。訓練参加者をはじめとする多くの市民が参加し、災害時の行動の優先順位と、地域防災計画の重要性について理解を深めた。

▼海上における  
要救助者の搜索救難訓練



▼救助した要救助者を  
館山消防署救急隊へ患者移管



▼鍵屋教授による防災  
に関する講演会



▼防災用品の配布



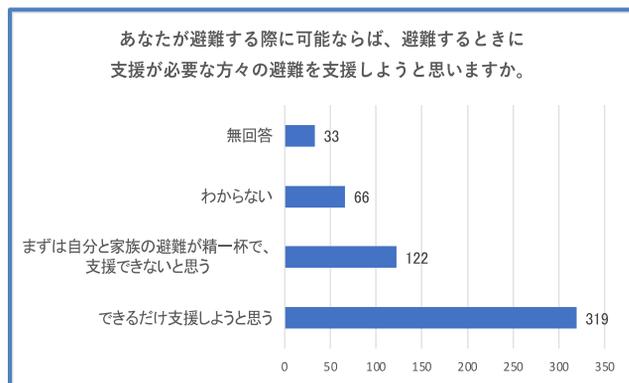
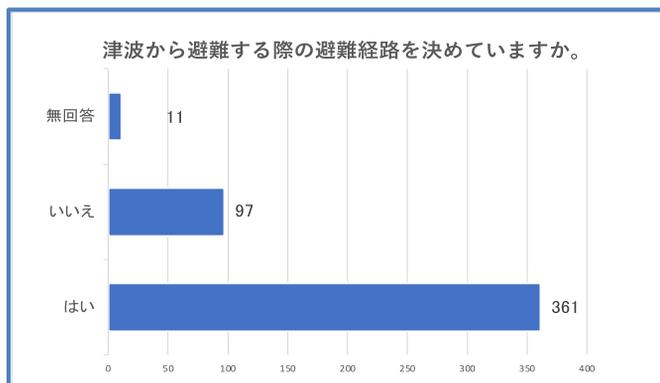
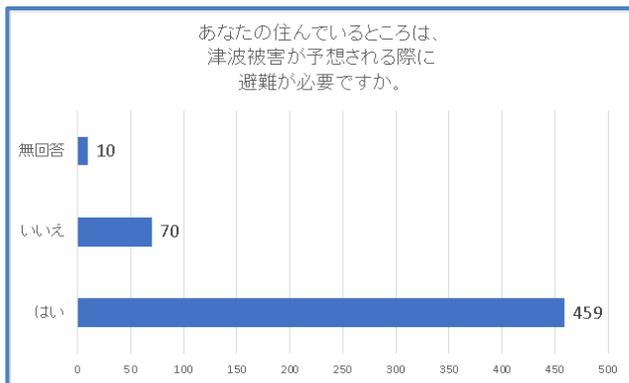
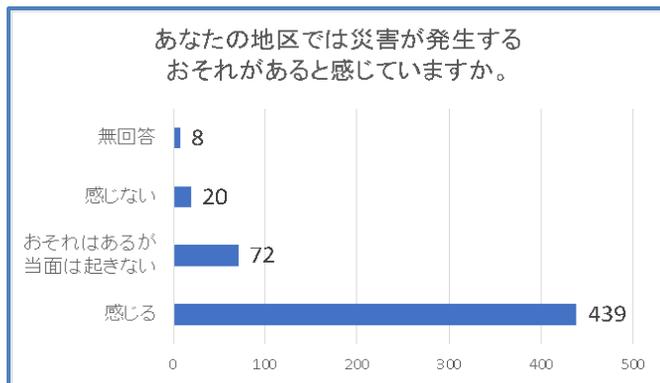
▼館山市長による  
訓練講評



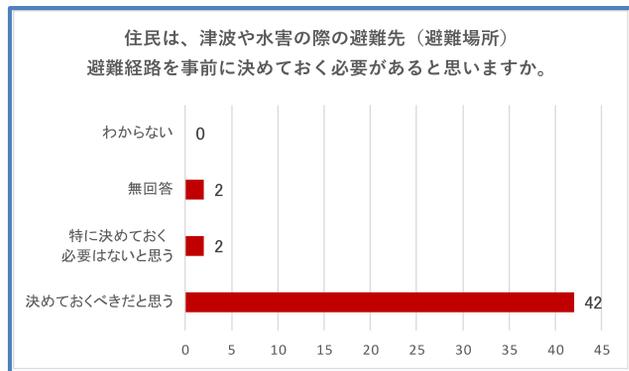
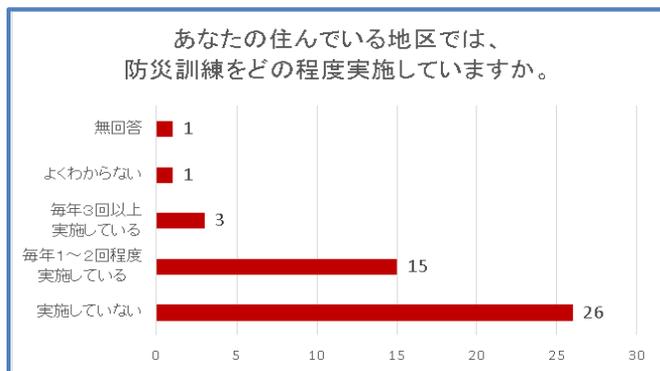
訓練実施後ワークショップは新型コロナウイルス拡大の影響により中止となったため、来年度、危機管理課主管による「防災講習」の位置づけで、北条地区町内会長等を対象とし、アドバイザーの鍵屋教授作成の講義用資料を使用した講習を行なうこととした。

## アンケート結果

住民の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。



防災意識や防災難対策への取組み状況等を把握するため、館山市の自主防災組織等のリーダーを対象にアンケート調査を実施した。



（実動訓練及びWS参加者の自由意見等から）

### 【津波避難訓練に関する意見】

- 台風15号以来、災害に対する価値観に変化はあったものの、なかなか自分事として捉える事が難しかったが町内での訓練を通して自分自身への意識付けに大いに役に立ち有意義な訓練であった。
- 実際に館山中学校の屋上までのぼる体験をすることができて良かった。高齢の方は屋上にのぼるのに思ったより時間がかかること、手すりのない階段もありのぼりにくい箇所があることがわかった。
- 介護が必要な方々の避難の仕方も訓練したい。